

持続可能な未来への見出し：2008年の達成業績と重要事項

既存の農業システムをエコロジカルな、社会的な、経済的に健全なモデルに変容させるという使命に基づき、IFOAMの努力は、知識に基づいた、持続可能な未来をサポートするための基盤を作ることを支援します。

世界中で有機農業を支援する

2008年、IFOAMの活動は、新興のオーガニックセクターがある国々の援助に集中しました。これらの活動を通じて、有機農業の発展に極めて重要な地域において実質的な進歩が達成されました。

- ・ **グループ認証** - IFOAMは、アメリカ農務省が有機農業基準委員会によるグループ認証の提言を起草する過程において、有機農業セクターを代表して提言することを通じて、とても深く関わりました。グループ認証への継続的な承認は、オーガニックセクターの成長と開発途上国における何千という小規模農家の生計にとって重要です。IFOAMの目的はグループ認証が公正で、法的に有効で、技術的に弁護できて、実行可能であることを保証することです。

- ・ **オーガニックワールド財団の設立 (OWF)** - この財団は、世界における資金調達と活動の支援と有機農業生産の認知度向上のため、IFOAMによって設立されました。OWFは、すべての多様性における有機農業団体をリードし、結びつけ、そして援助することによって、有機農業を支援することを意図しています。

- ・ **参加認証制度 (PGS) 自己評価ツール** - IFOAMのPGS委員会は、PGSに関わる人たちの重要な目標達成における成功を評価するための自発的なアンケートを開発しました。このツールは、ボランティアベースで現存する世界中のPGSに関する情報を集めるために、またそのネットワークを構築するためにIFOAMによっても使用されます。

国際的な会話をリードする



INTERNATIONAL FEDERATION OF ORGANIC AGRICULTURE MOVEMENTS

IFOAM はその中心的な使命の一部として、有機農業団体を結びつけ、議論のためのフォーラムを提供します。2008 年には以下のようなスポンサーイベントを組織することによって、IFOAM は有機農業についての重要な議論のためのプラットフォームを創出しました。

- ・ IFOAM 総会、ヴィニョーラ、イタリア、6 月 22 日-24 日 - 3 年に一度のイベントです。総会は、メンバーが有機農業の信頼性と完全性の守護者としての役目を果たす、草の根民主主義の場です。

ユニークな会議施設とニヶ国語間の同時通訳により、今年のイベントは IFOAM の歴史のなかでも過去最大の参加者を得ることができました。

- ・ オーガニック世界会議 (OWC)、モデナ、イタリア、6 月 16 日-20 日 - メンバーとサポーターが、動物生産、野菜作物、有機種子、トレーニング、農村開発、遺伝子組み換え生物、ブドウ栽培、衣服、開発政策、生物燃料、化粧品とボディケアなど、多岐に渡った問題に取り組みました。

科学者、社会学者、オーガニックセクターにおけるビジネスリーダーが、前例のないほど多くの参加者が持続可能性の高い有機農業の発展に向けて働くことを、意味深いワークショップ、セミナー、円卓会議での議論、そして双方向のフォーラムなどを通じて触発しました。

- ・ トレードシンポジウム、ニュルンベルグ、ドイツ、2 月 20 日 - オーガニックセクターの重要なプレイヤーが、大規模な従来型ビジネスがオーガニック市場に参入することの意味に焦点を合わせて話し合うために、一同に会しました。その日の、グローバルな原料調達と題された長い会議は、BioFach2008 とのつながりにおいて組織されました。これは世界最大のオーガニック展示会です。会議参加者は、オーガニック市場の可能性は誰も明確にできないほど大きいことを再確認しました。

- ・ プラネットダイバーシティ、ボン、ドイツ、5 月 16 日 - IFOAM は、ボンで開催された国連の代表団による生物多様性に関するカルタヘナ議定書の国際交渉と並行して、このイベントを国際環境 NGO 連合と共同で開催しました。イベントには 90 カ国、550 人以上の人々が参加しました。

有機農業運動を代表して語る

IFOAM の世界理事や事務局長、そして他の IFOAM メンバーは、数多くのハイレベルな、または政治的な会議に参加しました。そして専門的な聴衆に対して、重要な情報を提供し貢献しました。

2008 年は、メンバーは 100 を超える以下のようなイベントに参加しました。

- ・ 第 29 回 FAO (国連食糧農業機構) 中近東のための地域会議、カイロ、エジプト、
3 月 1 日-5 日
- ・ 気候変動に対する機会と挑戦-土地固有で地域社会のための伝統的知識と生物多様性、
アークチック地方、ヘルシンキ、フィンランド、3 月 25 日
- ・ 開発のための農業科学技術の国際評価 (IAASTD)、ヨハネスブルグ、南アフリカ、
4 月 7 日-14 日
- ・ 小規模農家のために持続可能な基準を機能させる、アルシャ、タンザニア、4 月 7 日-9 日
- ・ 開発のためのグローバリゼーションの機会と挑戦への取り組み、アルシャ、タンザニア、
4 月 20 日-25 日
- ・ 第 1 回中東欧と中央アジア各国のオーガニックセクター開発会議。キープ、ウクライナ、
4 月 10 日-12 日
- ・ 30 回 FAO ラテンアメリカとカリブ諸国のための地域会議、ブラジリア、ブラジル、
4 月 14 日-18 日
- ・ 国連 16 回持続可能な開発に関する委員会、ニューヨーク、アメリカ、5 月 5 日-16 日
- ・ 農業と森林技術者のキューバ協会、ラ・ハバナ、キューバ、5 月 13 日-16 日
- ・ 生物多様性のための有機農業、生物多様性の国際日 (IBD)、ボン、ドイツ、5 月 22 日
- ・ オーガニックエキスポ 2008、シドニー、オーストラリア、6 月 25 日-27 日
- ・ BioFach Japan (ビオファ・ジャパン : IFOAM 特別協賛)、東京、日本、9 月 24 日-27 日
- ・ 国際フェアトレード協会 (IFAT) とヨーロッパ地域会議、ローマ、イタリア、9 月 25 日-27 日
- ・ アジアフェアトレード : 革新と成長の推進、マラウイラ、スリランカ、10 月 11 日-15 日
- ・ ナチュラル & オーガニック製品展示会 2008、ケープタウン、南アフリカ、10 月 17 日-19 日
- ・ オーガニックアジア : 未来に向けた革新・挑戦・協力、サラワク、マレーシア、10 月 28 日-31 日

- ・ 中東ナチュラル&オーガニック製品エキスポ (MENOPE) & オーガニック会議 2008、ドバイ、アラブ首長国連邦、11月16日-18日
- ・ 第1回西アフリカ有機農業サミット&第4回全国会議、ナイジェリア、11月17日-21日
- ・ インドオーガニック展示会 (IOTF)2008、ニューデリー、インド、11月27日-30日

トレーニング素材とガイドライン-目標とした地域に実践的な有機農業の導入を促進するために、IFOAM はトレーニング、そのための素材、そしてガイドラインを提供します。2008年の新しい教材は以下のものを含まれます。

- ・ **インターネットトレーニングプラットフォーム-IFOAM** は、有機農業のためのトレーニング教材と機会への世界中からのアクセスを提供するためにこのプラットフォームをさらに改良しました。昨年で、利用可能な教材は 30%増加しました。メンバーに対して、このプラットフォームに価値を加えることをサポートしたことにより、訪問者数の急な増加がありました。月に 2500 以上のメンバーがこのサイトを訪れています。
- ・ **包括的な情報パッケージ** 今年紹介されました。このパッケージはオーガニックセクターの新興国への情報を提供します。それはふたつの素晴らしい研究「持続可能なオーガニックセクターの構築・有機農業に関する政策の成功事例：開発途上国の政府は有機農業を発展させるために何ができるか」と、追加されたツールと素材に基づいています。
- ・ **有機農業に関する批判とよくある誤解：その反論** 有機農業に向けてなされる様々な批判への反応として、このガイドは統合的な議論のセットを提供します。
- ・ **よくある参加認証制度(PGS)に対する質問への回答** 地域的に有効な品質保証運動である PGS は、生産者・消費者・オペレーター等の利害関係者の参加を強調しており、第三者認証制度の枠外に位置します。IFOAM の PGS 委員会は、PGS に対する最もよく聞かれる質問に対する回答を考えました。



INTERNATIONAL FEDERATION OF ORGANIC AGRICULTURE MOVEMENTS

- ・ **グループ認証：誰が適任者か？**-このレポートは、アメリカ有機農業基準委員会（NOSB）がグループ認証を受け入れたことを受けて行われた、オーガニック世界会議におけるグループ認証に関するディスカッションからのものです。
- ・ **有機農業と農業燃料のインパクト**-このリーフレットは、IFOAMの農業（生物）燃料の生産と使用に関するIFOAMのポジションの概要です。